

- プロウイルス DNA (PBMC 中) との長期不一致例について. 宇宿秀三、野口有三、坂本光男、相楽裕子、須藤弘二、西澤雅子、近藤真規子、今井光信. (第 16 回日本エイズ学会、名古屋、2002 年 11 月 28 日-11 月 30 日)
25. 薬剤耐性 HIV-1 における gag の関与と薬剤耐性検査におけるその意義. 杉浦 互. (第 5 回 白馬シンポジウム-最新エイズ研究 2002-白馬)
  26. 多剤併用療法の導入による抗 HIV-1 薬剤耐性変異の動向. 杉浦 互、松田昌和、千葉智子、岡野愛子、守谷研二、山田兼雄、山本直樹. (第 50 回日本ウィルス学会 2002 年 10 月 16-18 日、札幌)
  27. プロテアーゼ阻害剤耐性 HIV-1 で見られるプロテアーゼ領域外変異とその働き. 杉浦 互. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  28. 相同組換えによる患者由来 CRF01\_AE の再構築とその解析. 松田昌和、千葉智子、岡野愛子、守谷研二、富田康浩、佐藤裕徳、杉浦 互. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  29. ヒト T 細胞株を用いた新たな HIV-1 薬剤感受性検査法の確立の試み. 千葉智子、滝澤万里、松田昌和、松田善衛、横幕能行、岡野愛子、守谷研二、山田兼雄、本多三男、杉浦 互. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  30. 多剤併用療法導入後の本邦における抗 HIV-1 薬剤耐性変異の動向. 岡野愛子、松田昌和、千葉智子、守谷研二、山田兼雄、杉浦 互. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  31. HIV 母子感染予防の臨床的研究 (1) この 3 年間における妊婦 HIV 抗体検査率の動向について. 林 公一、戸谷良三、喜多恒和、稲葉憲之、井村総一、大場 悟、葛西建郎、北村勝彦、杉浦 互、高野政志、谷口晴記、外川正生、早川 智、塚原優己、箕浦茂樹、保田仁介、和田裕一、大久保秀夫、長縄 聡、吉野直人. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  32. HIV 母子感染予防の臨床的研究 (2) 産婦人科領域からの全国調査成績. 和田裕一、戸谷良三、喜多恒和、稲葉憲之、井村総一、大場 悟、葛西建郎、北村勝彦、杉浦 互、高野政志、谷口晴記、塚原優己、外川正生、早川 智、林 公一、箕浦茂樹、保田仁介、大久保秀夫、長縄 聡、吉野直人. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  33. HIV 母子感染予防の臨床的研究 (3) 小児科領域からの全国調査. 外川正生、戸谷良三、喜多恒和、稲葉憲之、井村総一、大場 悟、葛西建郎、北村勝彦、杉浦 互、高野政志、谷口晴記、塚原優己、林 公一、箕浦茂樹、保田仁介、和田裕一、大久保秀夫、長縄 聡、吉野直人、早川 智. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  34. HIV 母子感染予防の臨床的研究 (4) HIV 母子感染予防対策の普及を目的としたマニュアルの改訂. 塚原優己、戸谷良三、喜多恒和、稲葉憲之、井村総一、大場 悟、葛西建郎、北村勝彦、杉浦 互、高野政志、谷口晴記、外川正生、早川 智、林 公一、箕浦茂樹、保田仁介、大久保秀夫、長縄 聡、吉野直人. (第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  35. Silane-coated colloidal media 密度勾配における HIV-1 ウイルスの沈降動態. 田中雄大、久慈直昭、吉井毅、佐藤健二、谷垣礼子、浅田弘法、末岡浩、加藤真吾、吉村泰典、野澤志朗. (第 54 回日本産科婦人科学会 2002 年 4 月 6-9 日、東京)
  36. マウス造精機能障害モデルにおける

- c-kit の役割. 谷垣礼子、末岡浩、佐藤健二、中林章、田島博人、橋場剛士、浅田弘法、久慈直昭、吉村泰典、加藤真吾。(第 47 回日本不妊学会学術講演 2002 年 10 月 2-4 日、岐阜)
37. 重複型遺伝子型を有する Duchenne 型筋ジストロフィーに対する出生前・着床前診断へのアプローチ. 中林章、末岡浩、佐藤健二、田島博人、松田紀子、橋場剛士、浅田弘法、久慈直昭、吉村泰典、加藤真吾。(第 20 回日本受精着床学会 2002 年 10 月 4-5 日、岐阜)
  38. 1 塩基挿入および点変異型筋ジストロフィーの着床前診断における精度上の問題点. 田島博人、末岡浩、中林章、佐藤健二、橋場剛士、浅田弘法、久慈直昭、吉村泰典、加藤真吾。(2002 年 10 月 4-5 日、岐阜)
  39. PFGE と inverse PCR による MRSA の分子型別判定の比較. 加藤真吾、齊藤有紀、杉田香代子、小林芳夫。(第 76 回日本感染症学会総会学術講演会 2002 年 4 月 11-12 日、東京)
  40. HPLC による抗 HIV 薬細胞濃度測定. 加藤真吾、谷合佐緒里、田中理恵、根岸昌功、花房秀次、杉浦互。(第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  41. ジェノタイプ法とフェノタイプ法による抗レトロウイルス薬に対する HIV-1 の薬剤感受性検査結果の比較. 田中理恵、松田昌和、杉浦互、花房秀次、根岸昌功、加藤真吾。(第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  42. HIV/HCV 感染者における Hit early and hard の有効性. 花房秀次、大田美緒、和田郁子、加藤真吾。(第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  43. 改良 Swim up 法による HIV 除去精子を用いた体外授精の臨床成績. 花房秀次、加藤真吾、兼子智、高桑好一、鈴木美奈、久慈直昭、吉村泰典、田中憲一。(第 16 回日本エイズ学会学術集会 2002 年 11 月 28-30 日、名古屋)
  44. 夫 HIV 陽性、妻 HIV 陰性の夫婦に対する洗浄精子 ICSI による本邦最初の妊娠例. 神野正雄、酒井謙、近藤憲一、井上保、山井礼子、小池麻耶、岩下光利、中村幸雄、花房秀次、兼子智、加藤真吾。(第 324 回日本産科婦人科学会東京地方部会例会 2002 年 12 月 21 日、東京)
  45. 3 剤併用療法をそのまま評価する新しい薬剤耐性検査法の開発. 蜂谷敦子、松岡佐織、木村 哲、岡 慎一ら。(第 76 回感染症学会総会、4 月、東京、2002.)
  46. 新規感染者から検出された新たなネビラピン耐性変異について. 蜂谷敦子、児玉栄一、木村 哲、岡 慎一ら。(第 16 回日本エイズ学会総会、12 月、名古屋、2002.)
  47. 新規感染者から検出された新たなネビラピン耐性変異について. 蜂谷敦子、児玉栄一、木村 哲、岡 慎一ら。(第 13 回抗ウイルス化学療法研究会、1 月、千葉、2003.)
  48. タッチダウン PCR 法によるプロテアーゼ遺伝子の増殖不可能な原因とその改善策. 浅黄司、伊部史朗、金田次弘、鈴木博義、手塚文明。(第 16 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月 - 2002、名古屋.)
  49. Gag p6 遺伝子に検出された挿入変異の意義. 伊部史朗、森下高行、佐藤克彦、内海 眞、金田次弘。(第 16 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月 - 2002、名古屋.)
  50. 2001 年次に新規受診した未治療 HIV-1 感染症患者の薬剤耐性検査結果. 伊部史朗、森下高行、竹尾 歌、堀田直恵、佐藤克彦、内海 眞、金田次弘。(第 16

- 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
51. 新規低分子化合物：ペンダント型亜鉛サイクレン錯体の抗 HIV 活性とその作用機序. 山本直彦、森下高行、佐藤克彦、大竹 徹、森 治代、川畑拓也、金田次弘、内海 眞. (第 16 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
  52. 高感度リアルタイム PCR による HIV-1 DNA 定量法の検討. 永井裕美、和田かおる、森下高行、内海 眞、西山幸廣、金田次弘. (第 16 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
  53. PNA-ISH 法で同定された HIV-1 プロウイルス陽性細胞の表現型の決定. 服部純子、萩原智子、内海 眞、金田次弘. (第 16 回日本エイズ学会総会、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
  54. HIV プロウイルス測定の意味. 金田次弘. (第 16 回日本エイズ学会総会シンポジウム、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
  55. 抗 HIV 薬の血中濃度測定法の確立と体内動態. 宇佐美好子、大木剛、長岡宏一、伊藤洋貴、中井正彦、鷺坂昌史、金田次弘、山中克郎、内海眞. (第 16 回日本エイズ学会総会シンポジウム、平成 14 年 11 月－2002、名古屋。)
  56. HIV-1 プロウイルスの定量法確立に関する研究. 金田次弘、井田節子. 第 57 回国立病院療養所総合医学会シンポジウム、平成 14 年 10 月－2002、福岡。
  57. 大阪府下における HIV 感染に対してハイリスクな行動をとるグループの分子疫学的調査. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、大竹 徹、大石 功. (第 38 回近畿地区ウイルス疾患協議会研究会)
  58. 大阪府下における HIV 感染に対してハイリスクな行動をとるグループ内で見られた HIV-1 の多様性. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、大石 功、大竹 徹. (第 16 回近畿エイズ研究会、大阪、2002)
  59. 大阪府下の STD クリニックで見られた HIV-1 の分子疫学. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、大石 功、大竹 徹. (第 16 回日本エイズ学会、名古屋、2002)
  60. 大阪府の STD クリニックにおける HIV 抗体調査. 川畑拓也、大石 功、森 治代、小島洋子、大竹 徹. (第 16 回日本エイズ学会、名古屋、2002)
  61. HIV 感染者におけるウイルス phenotype の量的変動. 森 治代、小島洋子、川畑拓也、大竹 徹、巽 正志. (第 50 回日本ウイルス学会、札幌、2002)
  62. コレセプター阻害剤を利用した HIV-1 phenotype の測定. 森 治代、小島洋子、川畑拓也、大竹 徹、巽 正志. (第 13 回抗ウイルス化学療法研究会、千葉、2003)

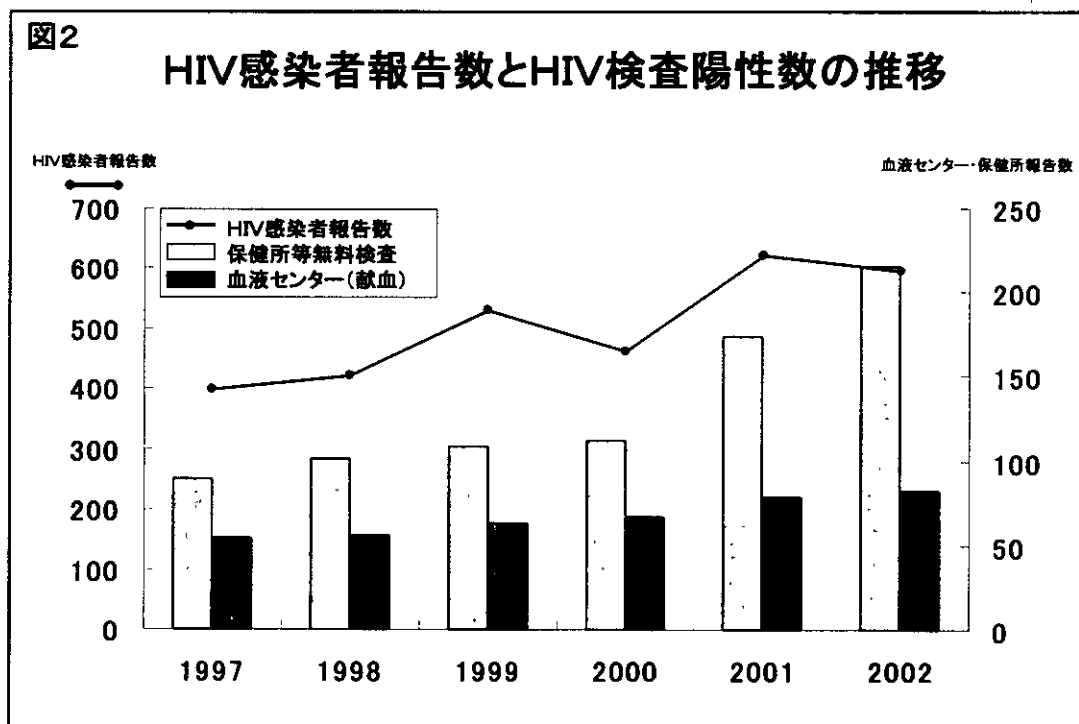
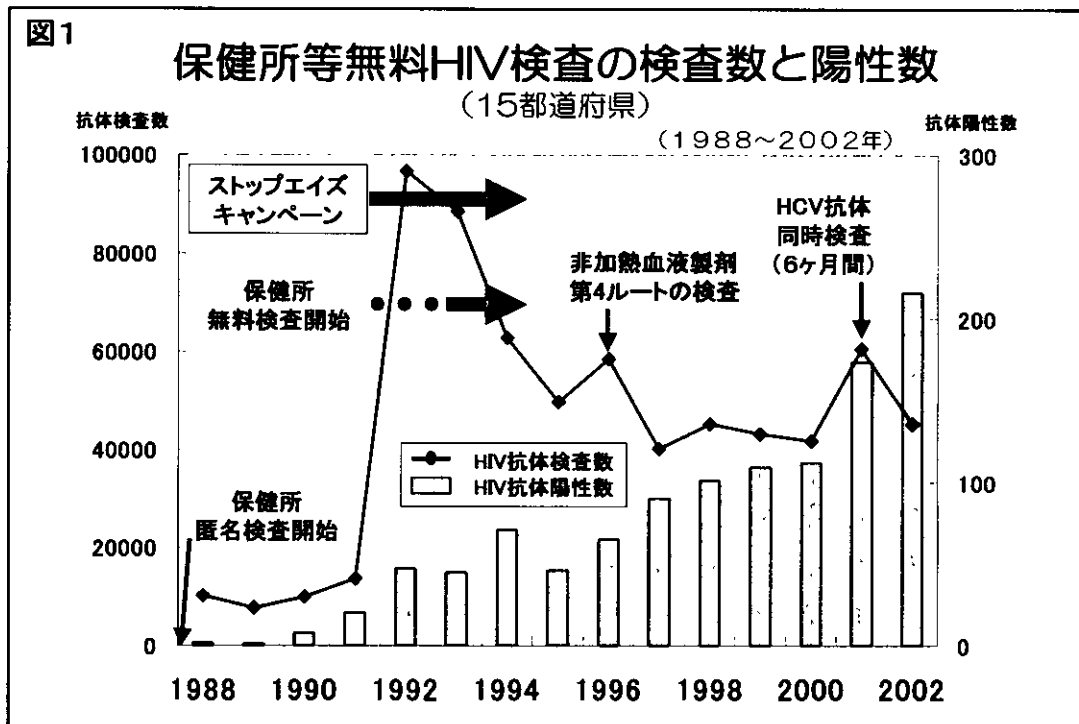


図3

### 保健所等無料HIV検査の陽性数と陽性率 (2002年 都府県別)

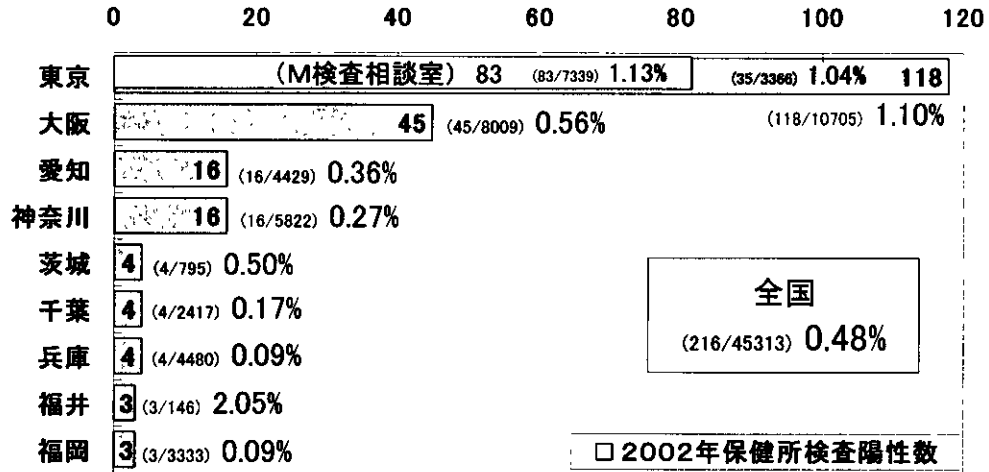


図4

### 保健所等HIV無料検査における陽性数の推移

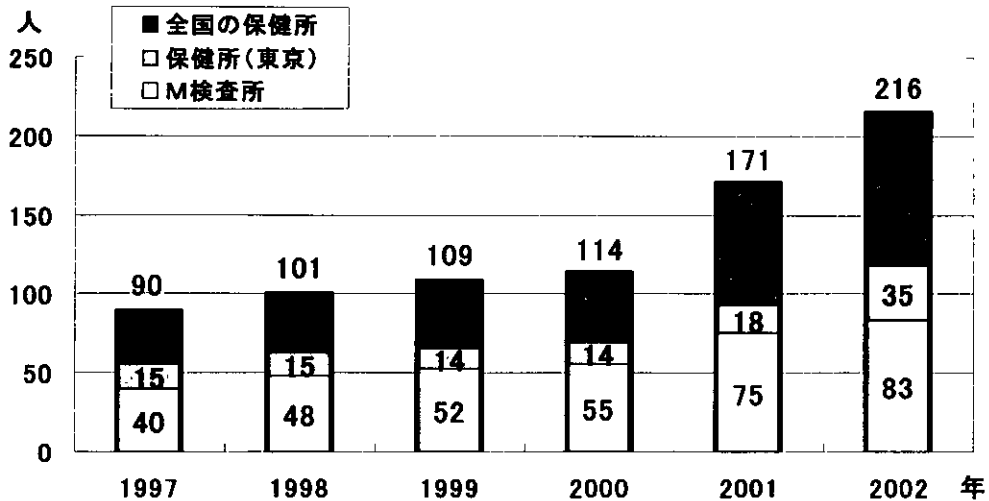


図5

### T地域のHIV検査数と陽性数

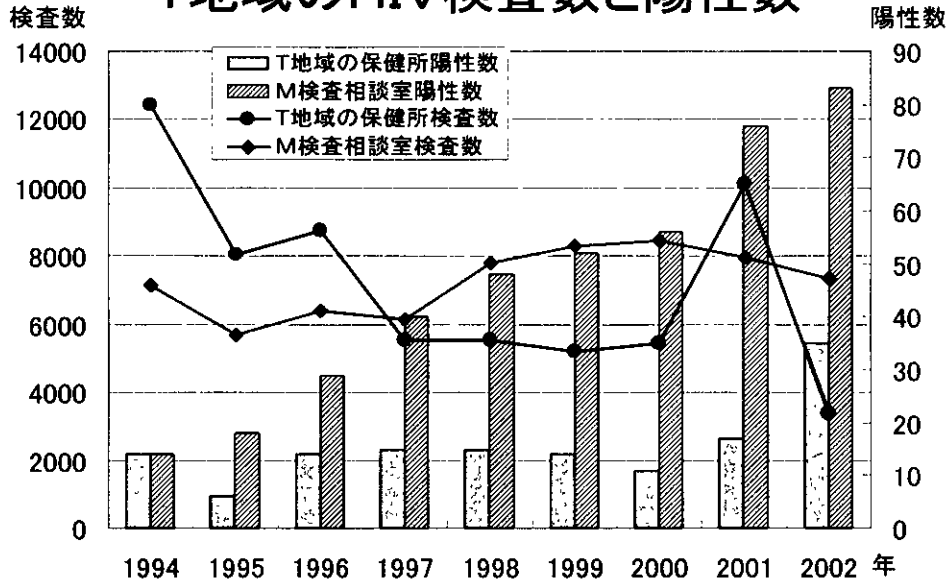
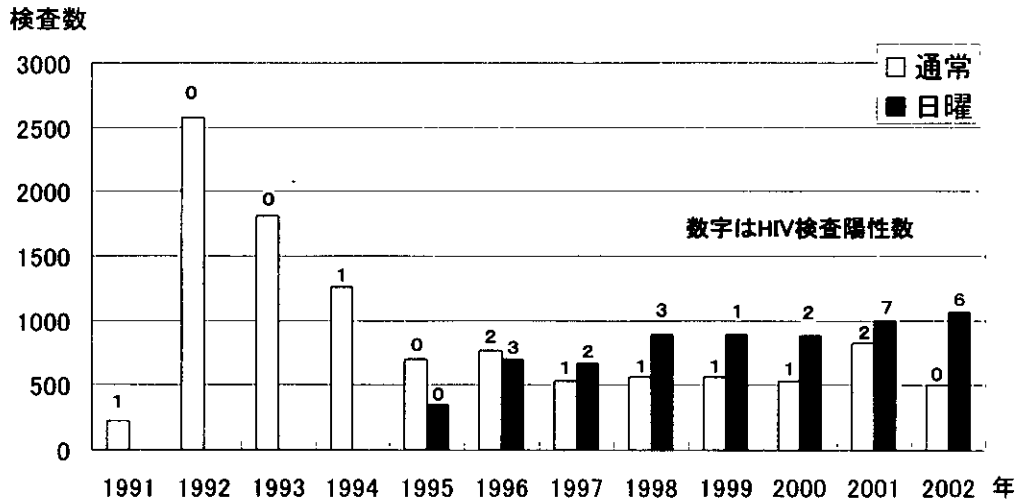


図6

### 保健所等無料HIV検査の検査数の推移 (K市)

・通常 平日(昼間)【7ヶ所】 すべて予約必要  
 ・日曜 (毎週日曜日) 10:00-12:00/13:00-15:30 予約不要



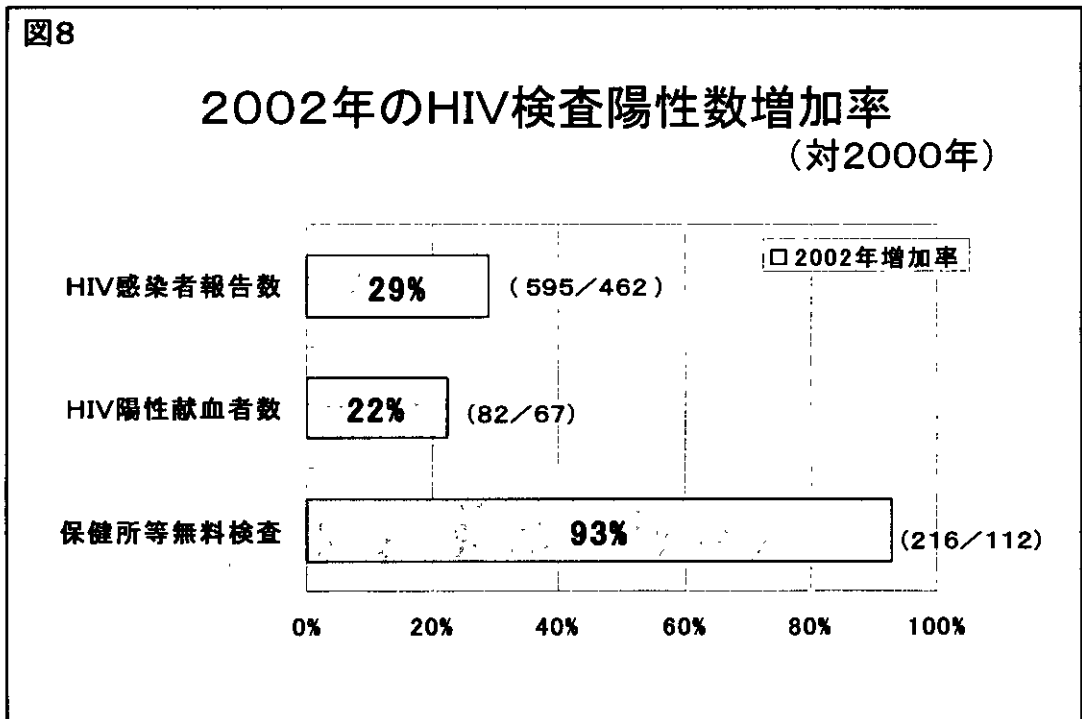
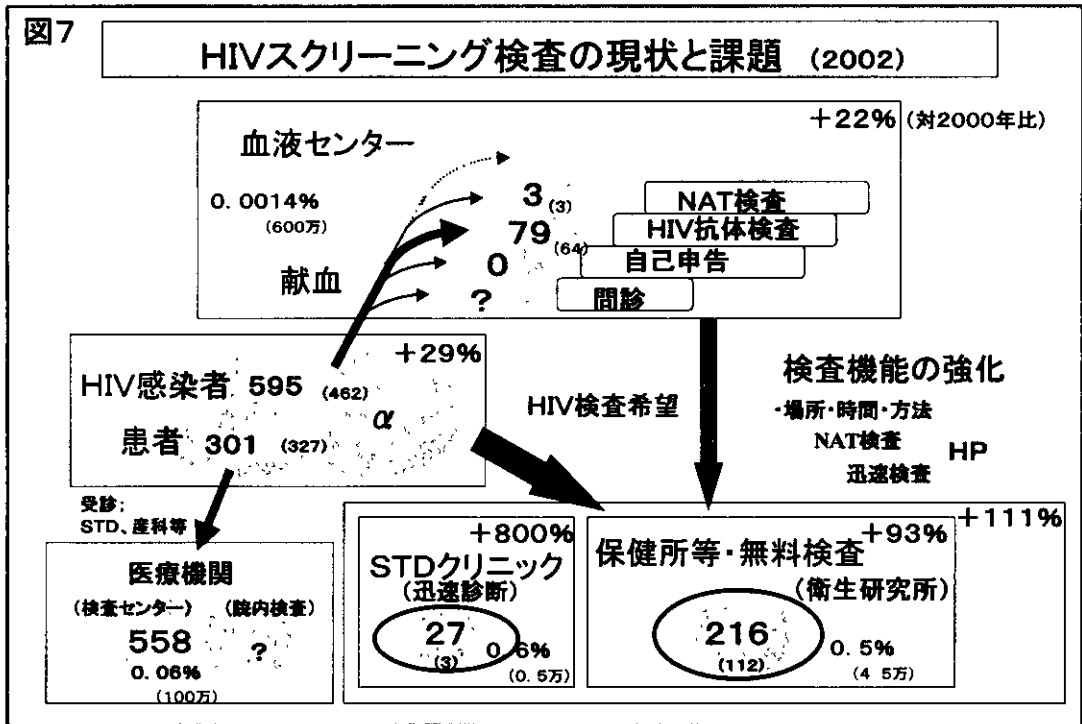
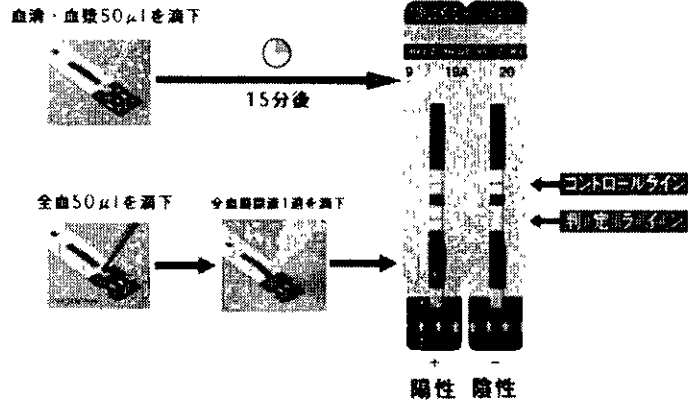


図9

### 迅速検査キット (ダックス・HIV-1/2) 測定方法および感度、特異性



感度 100%  
特異性 98.7~99.4% (偽陽性率 0.6~1.3%)

図10

### HIV抗体迅速検査の導入 —民間クリニックとの連携—

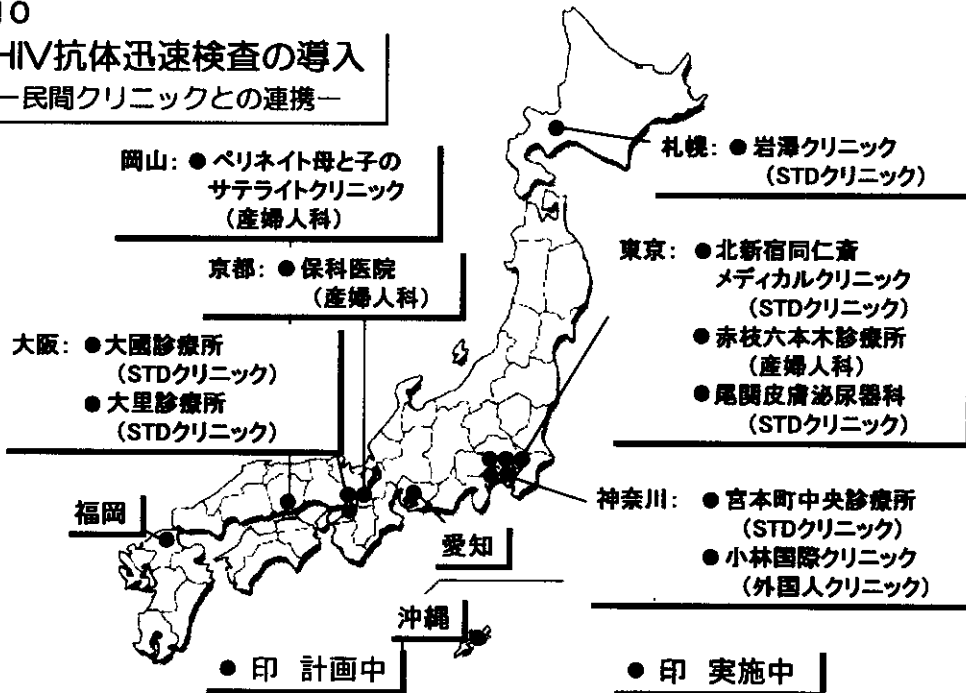
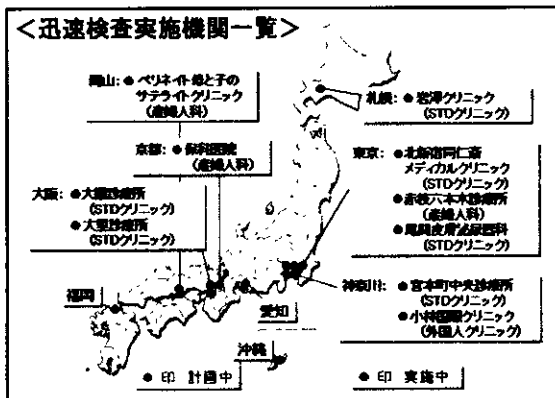




図11 民間クリニックでのHIV迅速検査実施状況



2002年末現在  
全国9クリニックで実施

<2002年>

検査数 **4553**  
陽性数 **(27)**  
陽性率 **0.6%**  
うち感染初期陽性例 **3**  
(HIV-1 PA 1000倍未満)

<2001年>

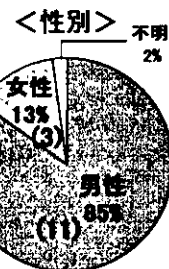
検査数 **759**  
陽性数 **(4)**  
陽性率 **0.5%**



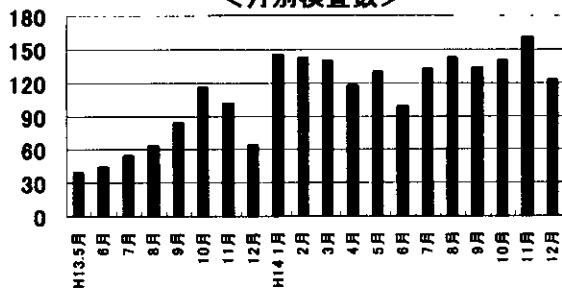
図12 迅速検査導入クリニックの検査実施状況

検査総数 : 2179件 (平成13.5月~平成14.12月)  
確認検査数 : 31件 (確認検査率 1.4%)  
HIV陽性数 : 14件 (陽性率 0.6%)  
偽陽性数 : 17件 (偽陽性率 0.8%)

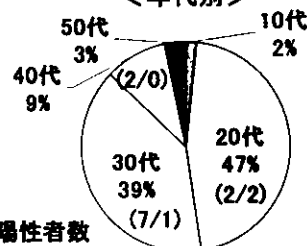
<Dクリニック>



<月別検査数>



<年代別>



<HIV陽性割合>  
全体 0.6% (14/2179)  
男性のみ 0.6% (11/1848)  
女性のみ 1.1% (3/275)

\* ( )内 : 陽性者数

図13

「HIV検査・相談マップ」  
地図検索地域一覧

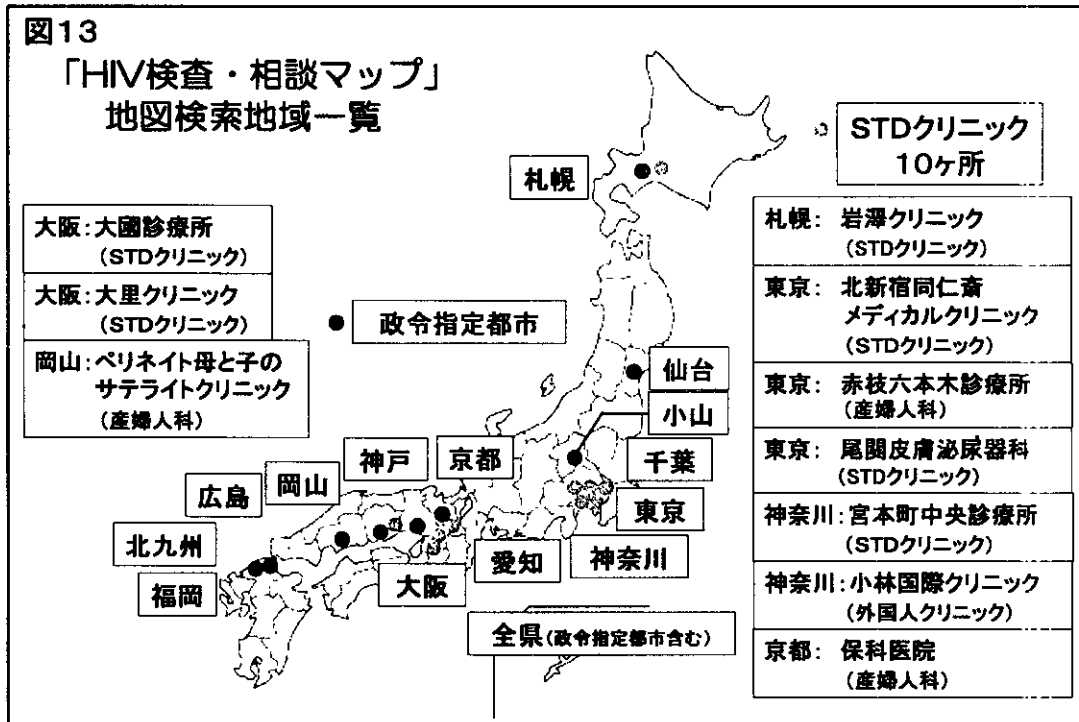
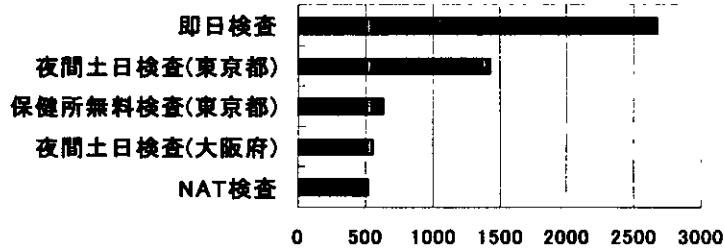


図14

各カテゴリーへのアクセス数 (2003年2月分)



詳細ページアクセス数 (2003年2月分)

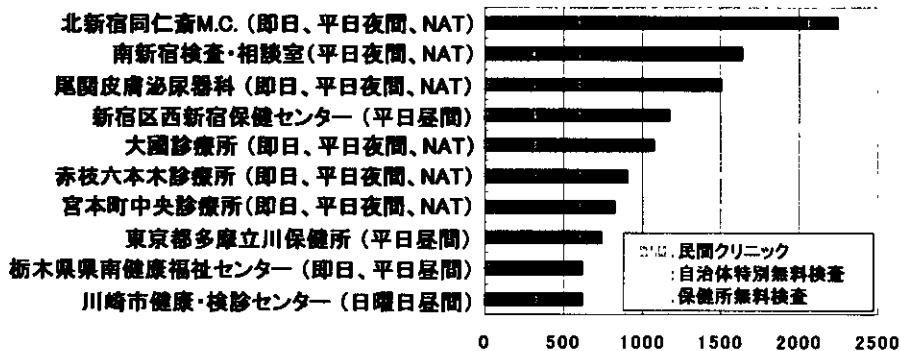


図15

迅速検査導入クリニック(Dクリニック)における  
HIV検査希望者へのアンケート調査結果

Q. このクリニックが迅速HIV検査を実施していることを知ったのは？

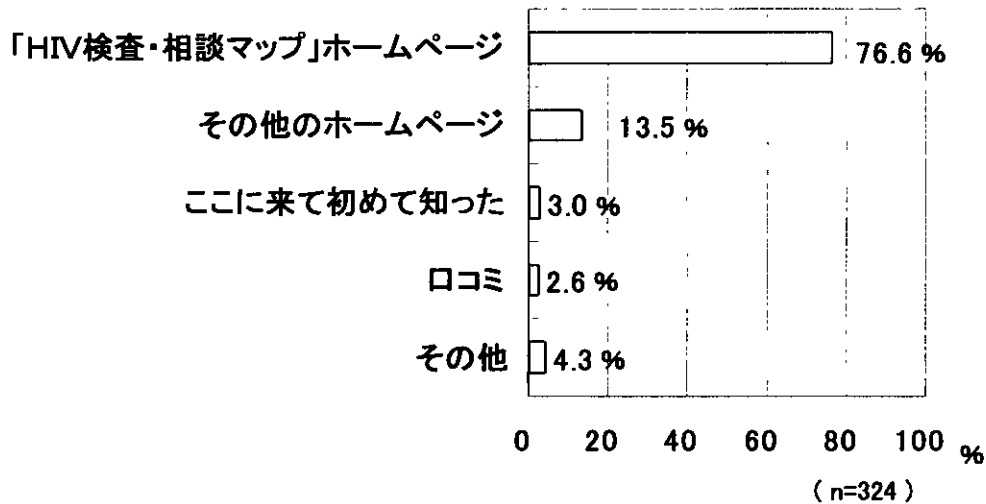
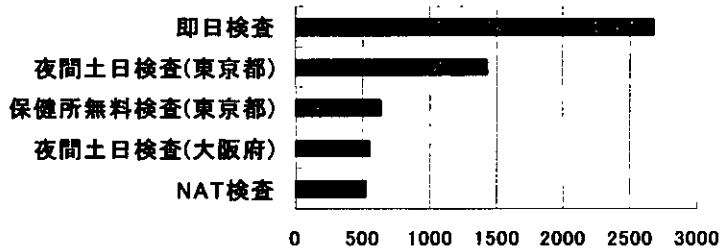
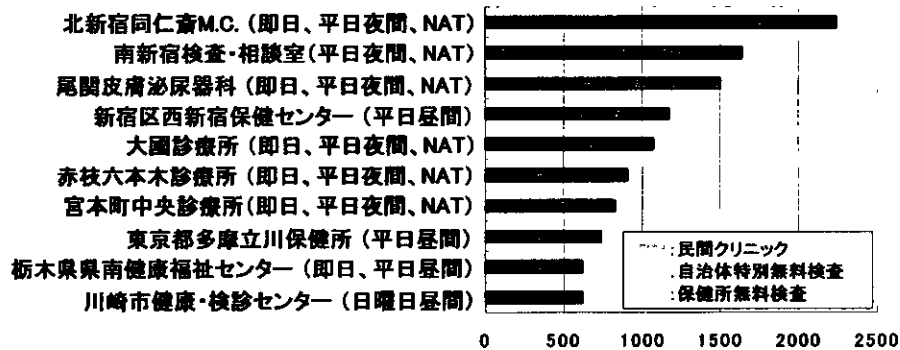


図16

各カテゴリーへのアクセス数 (2003年2月分)



詳細ページアクセス数 (2003年2月分)



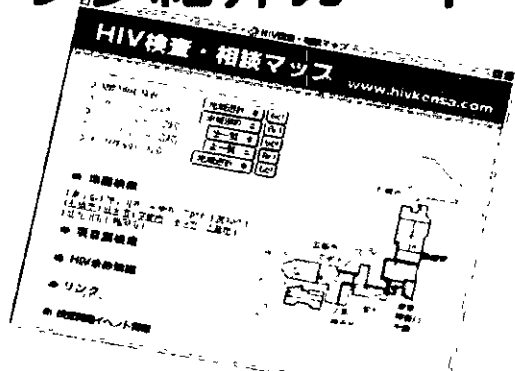
# HIV検査・相談マップ紹介カード

<http://www.hivkensa.com>

HIV検査や性感染症検査情報を検索できる「HIV検査・相談マップ」

ホームページ「HIV検査・相談マップ」は、HIV検査に関する分かりやすい情報を提供し、できるだけ多くの方にHIV検査を身近に感じてもらうために、厚生労働省「HIV検査法・検査体制研究班」（班長 神奈川県衛生研究所 今井光信）が作成し、提供しています。

カード標準（金カード仕様）サイズ85mm×53mm



## 教育活動、啓発活動にこの1枚

紹介カードには対象ごとに4種類のHIV関連情報（HIVまめ知識）を掲載

HIV関連情報（HIVまめ知識）を掲載した「HIV検査・相談マップ紹介カード」を教育活動、啓発活動等でお役立てください。紹介カードはコンパクトなカードサイズ(85mm×53mm)で、現在、4種類をご用意しています。（実物大）

### ① ウィンドウの理解カード

**HIV検査や性感染症検査に関する情報は、HIV検査・相談マップ**  
<http://www.hivkensa.com/>  
<http://www.hivkensa.com/IF>

厚生労働省 HIV検査法 検査体制研究班

**ウィンドウ期（ウィンドウペリオド）・感染後ウィンドウ期とは何ですか？**  
 HIVの感染初期には、血液検査で感染の分からない期間があります。これを「ウィンドウ期（ウィンドウペリオド、感染初期）」と呼んでおり、HIV抗体検査では感染した日からおよそ2ヶ月後になります。また、ウィンドウ期の中でも血液中のウィルス量が減少し、血液中より感染が起きる危険性のある期間を特に「感染後ウィンドウ期」と呼んでいます。この期間に感染された場合は、感染した時点からHIV感染の危険性があります。HIV感染のリスクのある場合は検査を受けて、感染後の検査結果でHIV検査を受けてください。

### ② 性感染症の啓発カード

**HIVまめ知識**

**性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすいって本当？**  
 本当です。淋病、梅毒、クラミジアなどの性感染症（STD）に感染していると、粘膜に炎症を起こすことで、HIVに感染しやすくなります。「エッチの際爽快感ももたらすエイズじゃないやっやっやっ」なんて誤解してはいられません。淋病やクラミジアは症状の出ないことも多く、特に女性の場合は、気づかないで放っておくと、不妊症や子宮外妊娠の原因となることもあります。

HIV検査や性感染症検査に関する詳しい情報は、  
<http://www.hivkensa.com>

性感染症の中には性感染症だけでなく、口や肛門、肛門へ感染するものもあります。性感染症の予防のためには、挿入型だけでなく、フェラチオやコンドームリングスといったオラルセックスの際にもコンドームを使うことが大切です（コンドームリングスは、コンドームをバグなどで破損する恐れがあるので、避けてください）。

### ③ コンドーム啓発カード

**HIVまめ知識**

**HIV検査で陽性ならもう安心??? コンドームは使いなんだから...**

<p>毎ヶ月間までの結果です</p> <p>HIVに感染しても、体内でHIVが増え、抗体ができるまでには、通常4〜8週間かかります。HIV検査が陽性であっても、検査直後の2ヶ月間はHIV感染の危険性がある上、心配が尽きません。その場合は念のため、2ヶ月以上経ってから、もう一度検査を受けると安心です。</p>	<p>今後のことはまた次話...</p> <p>今までHIVに感染していなかったとしても、「これから大丈夫」と言えるかどうかは、あなた自身の行動次第です！今までは気が付かなかったようなかもしれない「今後は大丈夫」かどうかは、今後、あなたがコンドームを習慣的に使えるかどうかにかかっています。</p>
--	---

◆検査は早期発見・早期治療に役立ちます◆  
 HIV検査に関する詳しい検査情報は...  
<http://www.hivkensa.com>

### ④ 女の子向けカード

**HIVまめ知識**

**知っていますか？万が一の場合の「緊急避妊」と「性感染症検査」**  
 既交際のセックスで「コンドームが破けてしまった・取れてしまった」「コンドームが破れなかった」という場合には、妊娠の可能性とともに、性感染症の可能性もあります。

<p><b>緊急避妊</b></p> <p>緊急避妊としての「緊急避妊」を知っていますか？？緊急避妊は、性交渉の女性ホルモンの作用を抑制する薬剤や子宮内避孕剤を使うことで妊娠を防ぐ効果があります。詳しい緊急避妊の紹介は...                  (注) 日本赤十字社 緊急避妊 http://www.jrc.or.jp/ 緊急避妊ダイヤル 03-5567-7777 (月～金 10時～18時) (匿名・無料です)</p>	<p><b>性感染症検査</b></p> <p>「コンドームを破けたら、避けてしまった」時のセックス、オラルセックスでは、性病や、のどに感染する可能性がある場合があります。症状が分かりにくい性病もあり、知れずに放っておくと「パートナーや赤ちゃんに感染したり、自分自身に感染」になることもあります。性感染症や性感染症に関する詳しい情報は...  <a href="http://www.hivkensa.com">http://www.hivkensa.com</a></p>
---	---

## 紹介カードの送付依頼はホームページで受け付け

紹介カードのご利用を希望される方はホームページ「HIV検査・相談マップ」（<http://www.hivkensa.com/>）からお申し込みください。（カード枚数に限りがあり、ご希望に添えない場合もありますが、ホームページ上に「カード印刷用ページ」も用意しておりますので、是非ご利用ください。）

HIV検査法・検査体制研究班「HIV検査・相談マップ」ホームページ事務局  
 メールアドレス [web@hivkensa.com](mailto:web@hivkensa.com)

図18 表 欧米諸国の献血のHIV混入防止方策

項目	日本	ベルギー	イギリス	スウェーデン	スイス	カナダ	ドイツ	
血液収集機関	日本赤十字社	ベルギー赤十字血液事業	国家血液事業	血液センター	スイス赤十字血液事業	ケベック州：Hema-Québec その他の地域：カナダ血液事業	ドイツ赤十字血液事業、 大学病院・大病院、 製薬会社・民間施設	
初回献血日以前の手続き	なし	なし	献血希望者にパンフレットを送付	登録前にHIV検査を含む血液検査	なし	登録とHIV教育	なし	
本人確認	なし	身元確認(法令で規定)	資料送付時に住所確認	個人番号	身元確認	身元確認	身元確認	
献血とHIV感染リスクに関する教育	①問診表・面接、リーフレット・ポスター等	①+ ②HIV/AIDSに関する啓発資料の交付	①+②	①+②	①	①	①+②	
感染リスクの確認方法	共通項目	問診表・問診(面接)・検査 献血希望者の署名 面接担当者の定期研修(除スウェーデン) 感染リスク行為の範囲						
	面接者	医師	専任医師	看護師	看護師	看護師	看護師	医師
	その他	①面接による確認 +②選及調査	①+②+ ③問診表に面接者の署名・検印・コード	①+②+③	①+②+③	①+②+③	①+②+③	①+②
使用回避申告	連絡先、製造番号を記載した情報シートを渡す					問診表提出時に、血液使用の可否を献血者が意思表示	あり 献血前に説明、後に記入	
HIV(偽)陽性者に対する告知と公官署への報告	明示されていない	検査結果の告知を採血前の説明や問診表で同意を得ている。 告知はホームドクター経由で行う場合と、直接献血者に行いその後の対応を指導する場合がある。 また献血希望者に対し、公官署や集計機関に報告することを明示し、同意を求めている国もある。						
NAT	日本・カナダで全検体に、ドイツで9割以上の検体に行われている。 スイスでは確認検査として行うことがある。							
HIV/AIDS検査体制	保健所(匿名、無料、限られた利用時間)、 性感染症クリニックなど一部の診療所・病院	検査所、泌尿器科・婦人科、病院、保健センターなどで広く行われている。 国民健康保健や社会保障でカバーされる。施設によって匿名検査も可能。						

図19

## 薬剤耐性検査の種類

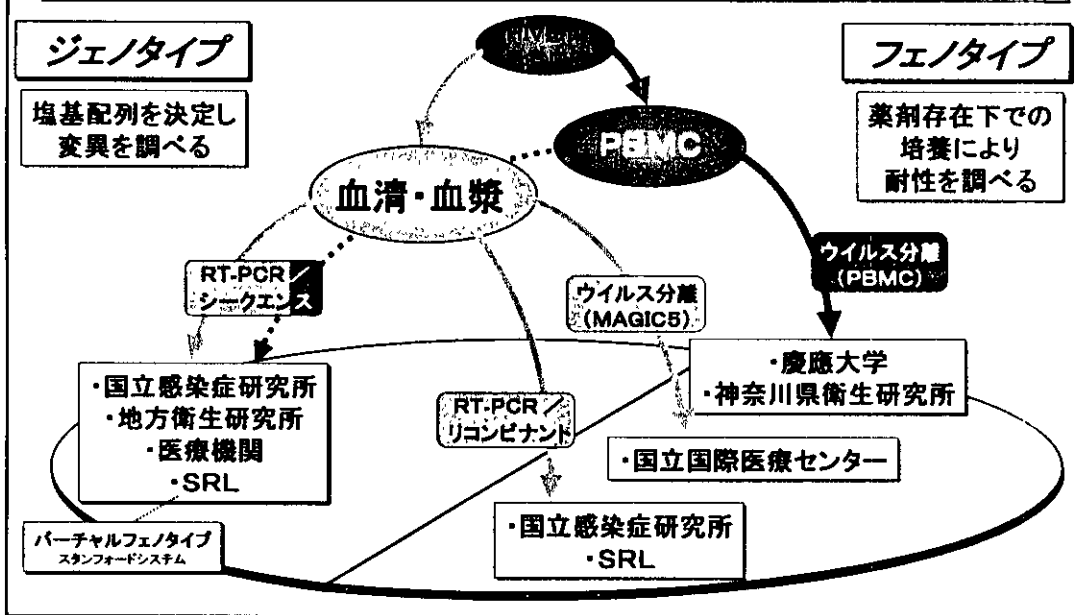


図20

## 薬剤耐性フェノタイプ検査結果の比較

臨床分離株 9例 : (一次変異無し 2例 , 一次変異有り 7例)

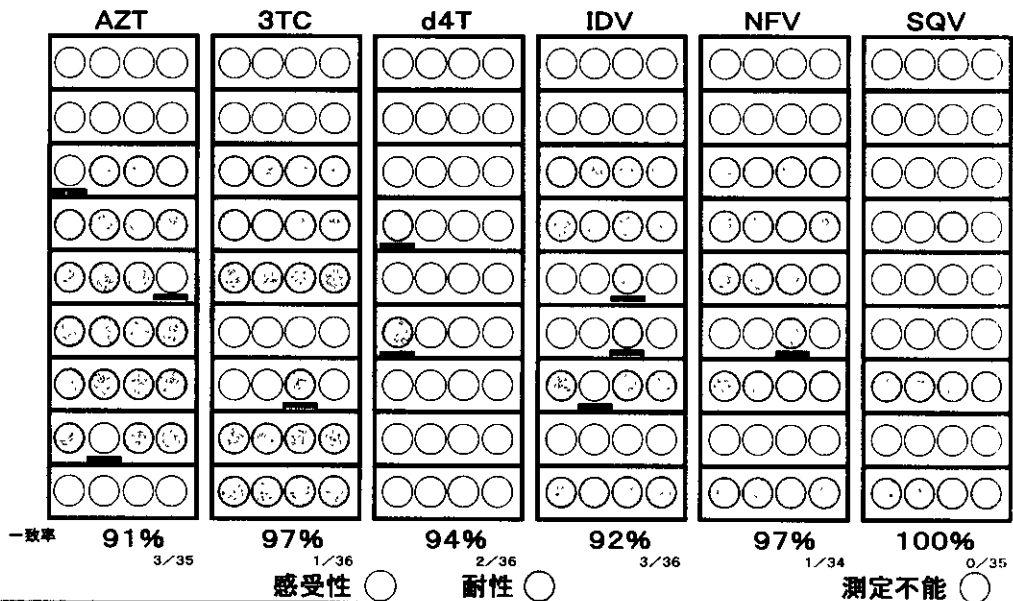


図21

## 薬剤耐性フェノタイプ検査結果と薬剤耐性変異

AZTに対する耐性度

薬剤耐性変異(RT領域)

	検査機関1	検査機関2	検査機関3	検査機関4	
*	3.6	11	4.8	21.3	M41L, M184V, T215Y
	110.0	17	11.5	4.3	M41L, E44D, D67N, T69AD, A98G, M184V, T215F
*	6.4	38	14.5	2.2	M41L, M184V, L210W, T215Y
	38.0	71	35.4	4.4	M41L, T215Y
	45.0	49	>208	?	D67N, K70R, Y188L, T215Y
*	5.9	3.3	8.3	6.3	A98S, K103N, M184V, T215Y
	1.0	0.9	0.35	1.0	M184V

>4 >10 >4 >4

感受性



耐性



測定不能



\*: 不一致例

検査機関1 慶応大学  
 検査機関2 神奈川県衛生研究所  
 検査機関3 国立国際医療センター  
 検査機関4 Virco社

図22

## バーチャルフェノタイプとフェノタイプの相関

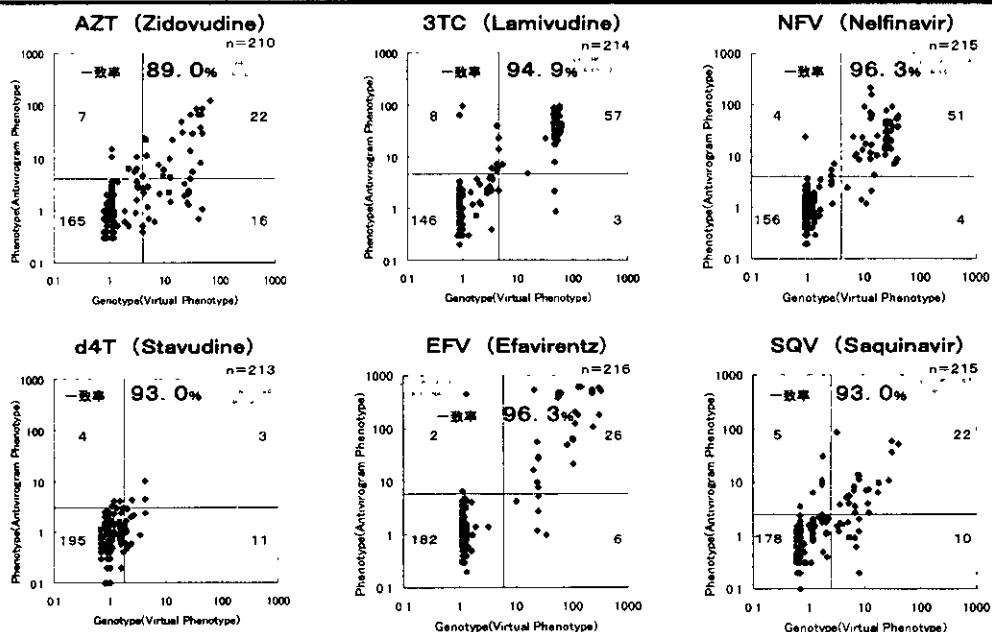


図23

## 薬剤耐性検査の現状

—2002年—

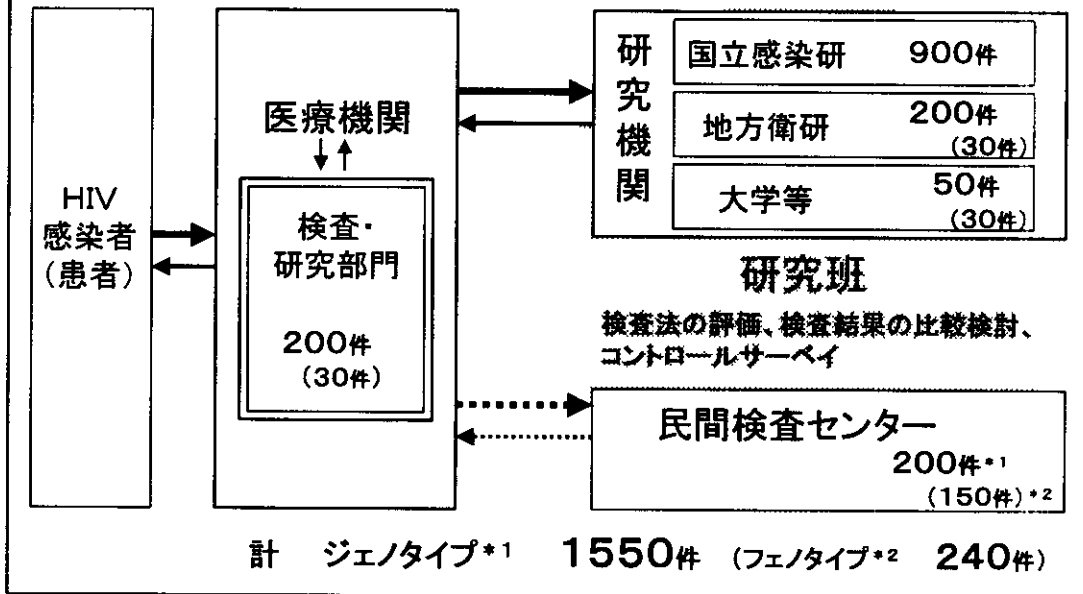


図24

## Methodology for quantification of HIV-1 DNA by highly sensitive real-time PCR

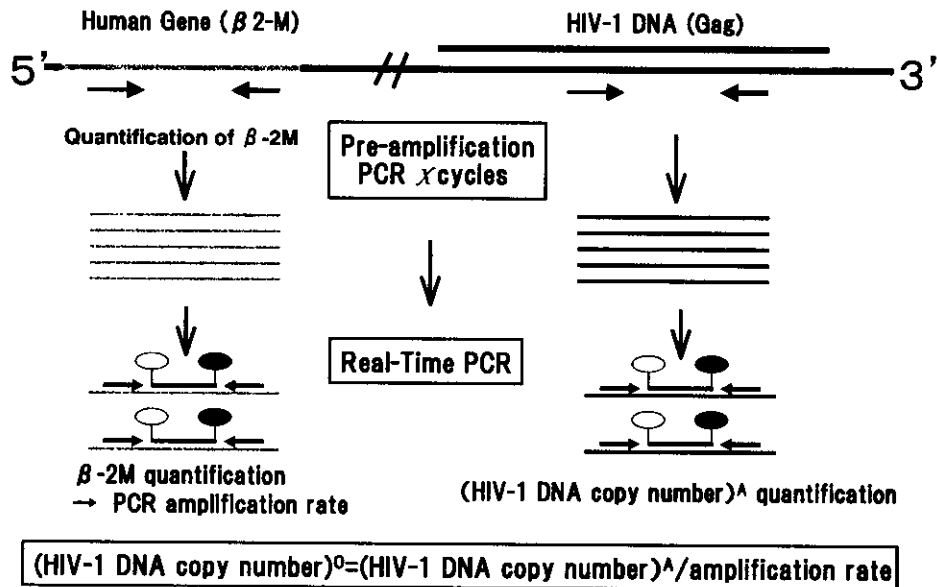




図25

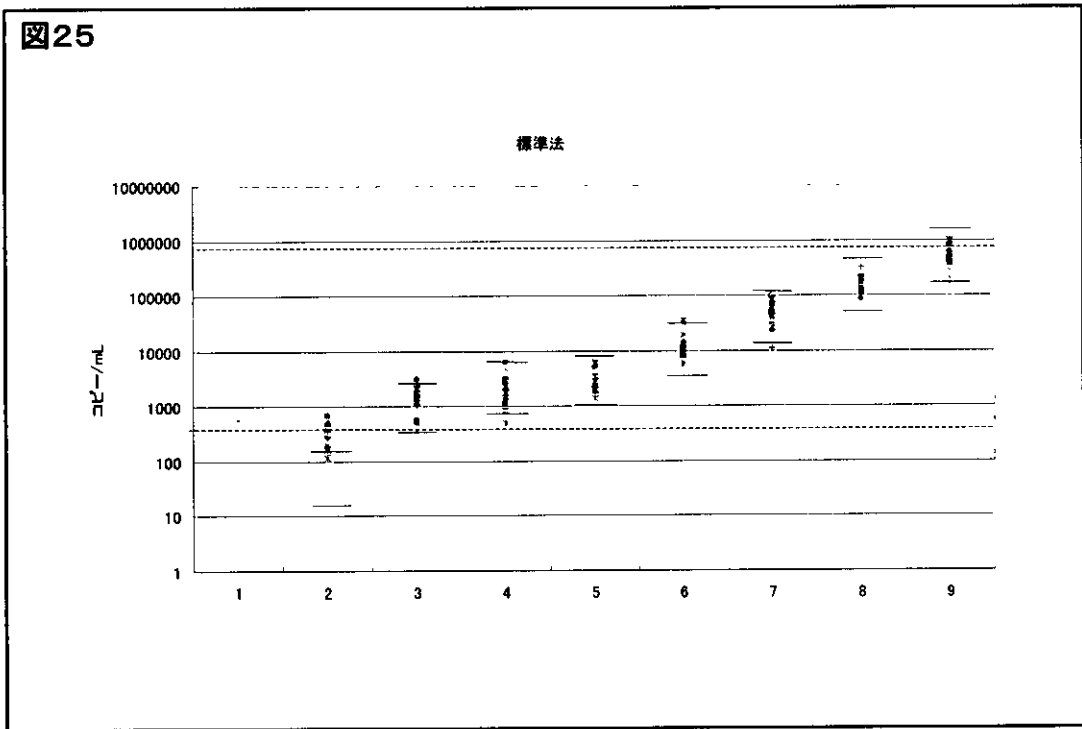
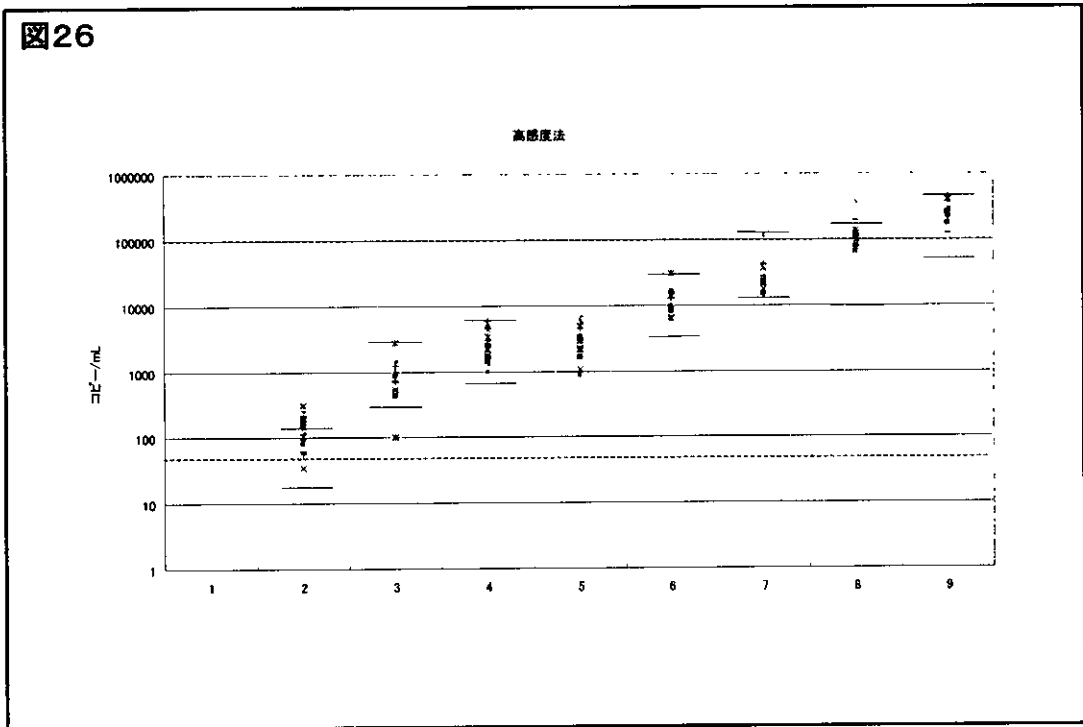


図26

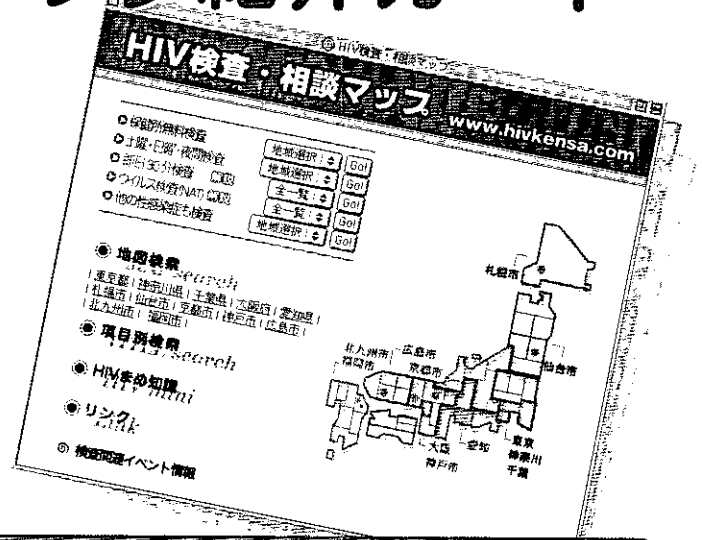


# HIV検査・相談マップ紹介カード

<http://www.hivkensa.com>

HIV検査や性感染症検査情報を検索できる「HIV検査・相談マップ」

ホームページ「HIV検査・相談マップ」は、HIV検査に関する分かりやすい情報を提供し、できるだけ多くの方にHIV検査を身近に感じてもらうために、厚生労働省「HIV検査法・検査体制研究班」(班長 神奈川県衛生研究所 今井光信)が作成し、提供しています。



カード表面 (全カード共通) サイズ85mm×53mm



## 教育活動、啓発活動にこの1枚

紹介カードには対象ごとに4種類のHIV関連情報 (HIVまめ知識) を掲載

HIV関連情報 (HIVまめ知識) を掲載した「HIV検査・相談マップ紹介カード」を教育活動、啓発活動等でお役立てください。紹介カードはコンパクトなカードサイズ(85mm×53mm)で、現在、4種類をご用意しています。(実物大)

### ① ウィンドウ期説明カード

**HIVまめ知識**

**ウィンドウ期 (ウィンドウペリオド)・感染性ウィンドウ期とは何ですか?**

HIVの感染初期には、血液検査で感染の分からない期間があります。これを「ウィンドウ期 (ウィンドウペリオド・空白期間)」と呼んでおり、HIV抗体検査では感染した日からおよそ2ヶ月あります。また、ウィンドウ期の中でも血中にウイルスが存在し、輸血により感染が起る危険性のある期間を特に「感染性ウィンドウ期」と呼んでいます。この期間に献血された血液は、輸血した患者さんにHIV感染の危険性があります。HIV感染のリスクのある場合は献血を避けて、保健所等の検査機関でHIV検査を受けてください。

◆ HIV感染とウィルス量 ◆

◆ 検査は早期発見・早期治療に役立ちます ◆  
HIV検査に関する詳しい検査情報等は…  
<http://www.hivkensa.com>

### ② コンドーム啓発カード

**HIVまめ知識**

**HIV検査で陰性ならもう安心??? コンドームは嫌いなんだけど…**

<p><b>2ヶ月前までの結果です</b></p> <p>HIVに感染しても、体内でHIVが増え、抗体ができるまでには、通常4～8週間かかります。HIV検査が陰性であっても、検査前の2ヶ月間にHIV感染の危険性があると、心配が残ります。その場合は念のため、2ヶ月以上経ってから、もう一度検査を受けると安心です。</p>	<p><b>今後のことはあなた次第…</b></p> <p>今までHIVに感染していなかったとしても、「これから大丈夫」と思えるかどうかは、あなたの行動次第です! 今までは選が良かっただけなのかもしれません。「今後も大丈夫」かどうかは、今後、あなたがコンドームを有効に使えるかどうかにかかっています。</p>
---	--

◆ 検査は早期発見・早期治療に役立ちます ◆  
HIV検査に関する詳しい検査情報等は…  
<http://www.hivkensa.com>

### ③ 性感染症の啓発カード

**HIVまめ知識**

**性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすいって本当?**

本当です! 淋病、梅毒、クラミジアなどの性感染症 (STD) に感染していると、粘膜に炎症を起こしやすくなり、HIVにも感染しやすくなります。「エッチで病気をもらってもエイズじゃなきゃ大丈夫…」なんて油断してはいけません。淋病やクラミジアは症状の出ないことも多く、特に女性の場合、気がつかないで放っておくと、不妊症や子宮外妊娠の原因となることもあります。

HIV検査や性感染症検査に関する詳しい情報は…  
<http://www.hivkensa.com>

性感染症の中には性器だけでなく、口やのど、肛門へ感染するものもあります。性感染症の予防のためには、挿入時だけでなく、フェラチオやクンニリングスといったオーラルセックスの時にもコンドームを使うことが大切です (クンニリングスでは、コンドームをハサミで縦向きに切り広げて、風として使います)。

### ④ 女の子向けカード

**HIVまめ知識**

**知っていますか? 万が一の時の『緊急避妊』と『性感染症検査』**

男女間のセックスで「コンドームが破けてしまった・取れてしまった!」「コンドームが使えなかった…」という場合には、妊娠の可能性とともに、性感染症の可能性もあります。

<p><b>緊急避妊</b></p> <p>緊急避妊としての『緊急避妊』を知っていますか? 2時間以内に必要な女性ホルモン剤を服用する方法や子宮内避妊具を使うことで妊娠を防ぐ効果があります。</p> <p>詳しい情報/病院の紹介は… (社) 日本家族計画協会 <a href="http://www.jpfa-clinic.org">http://www.jpfa-clinic.org</a> ビルダイヤル 03-3267-7776 (月～金 10時～16時) (匿名・無料です)</p>	<p><b>性感染症検査</b></p> <p>「コンドームをつけなかった、破けてしまった」時のセックス、オーラルセックスでは、性器や口・のどに性感染症がうつる可能性があります。症状が分かりにくい病気もあり、知らずに放っておくとパートナーや赤ちゃんに感染したり、また不妊の原因になることもあります。</p> <p>性感染症やHIV検査に関する詳しい情報は… <a href="http://www.hivkensa.com">http://www.hivkensa.com</a></p>
---	--

## 紹介カードの送付依頼はホームページで受け付け

紹介カードのご利用を希望される方はホームページ「HIV検査・相談マップ」 (<http://www.hivkensa.com/>) からお申し込みください。(カード枚数に限りがあり、ご希望に添えない場合もありますが、ホームページ上に『カード印刷用ページ』も用意してありますので、是非ご利用ください。)

HIV検査法・検査体制研究班「HIV検査・相談マップ」ホームページ事務局  
メールアドレス [web@hivkensa.com](mailto:web@hivkensa.com)

## Ⅱ. 分担研究報告

- 1 行政におけるエイズ対策としての HIV 検査体制のあり方に関する研究 (河原和夫)
- 2 HIV 即日検査の導入等による効果と今後の課題 (嶋 貴子)
- 3 HIV の検査法と検査体制を確立するための研究:  
東日本の衛生研究所への遺伝子検査の導入を中心に  
東京地区におけるHIV感染の遺伝子血清疫学的研究 (関根大正)
- 4 STD クリニックにおける HIV 感染のモニタリング (大竹 徹)
- 5 保健所における即日告知のための HIV 抗体迅速検査法導入についての検討 (田村正秀)
- 6 日本赤十字社におけるHIV検査体制に関する研究  
—NATの導入とその検査結果の解析— (山中烈次)
- 7 海外のドナーセレクトに関する研究 (木村和子)
- 8 薬剤耐性変異の解析法の開発改良実用化と技術研修に関する研究 (杉浦 互)
- 9 薬剤耐性変異の解析法の開発に関する研究 (加藤真吾)
- 10 3剤併用療法をそのまま評価する新しい薬剤感受性試験「All in One Assay」の開発 (蜂谷敦子)
- 11 フェノタイプ検査とバーチャルフェノタイプ検査の比較検討と評価 (向出雅一)
- 12 各種薬剤耐性検査法(フェノタイプ)による検査結果と比較 (近藤真規子)
- 13 HAART 治療中の HIV-1 感染者に検出されたリバウンドウイルスの遺伝子解析 (大竹 徹)
- 14 東海地区における HIV 初感染者の薬剤耐性変異(ジェノタイプ)について—2 (鈴木康元)
- 15 兵庫県において検出された HIV 薬剤耐性変異について (川村 隆)
- 16 HIV-1 薬剤耐性変異の解析について (千々和 勝己)
- 17 アジア途上国における初感染、未治療者の薬剤耐性 HIV の浸淫状況 (山本 直彦)
- 18 日本における HIV-1 サブタイプの解析 (近藤 真規子)
- 19 PCR 法を用いた新型 HIV 検出システム構築の試み (市村 宏)
- 20 高感度リアルタイム PCR による HIV-1 DNA 定量法の確立 (金田次弘)
- 21 HIVRNA 定量のコントロールサーベイと評価 (吉原なみ子)

## 1. 行政におけるエイズ対策としての

### HIV 検査体制のあり方に関する研究

分担研究者	河原 和夫（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 環境社会医歯学系専攻医療政策学講座医療管理学分野）
研究協力者	桜井 賢樹（財団法人 エイズ予防財団研修研究部） 潮見 重毅（栃木県南健康福祉センター） 中瀬 克己（岡山市保健所） 宮崎 千佳（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 環境社会医歯学系専攻医療政策学講座医療管理学分野）

#### 研究概要

保健所の HIV 相談・検査体制が大きな転換期に至っていることは、過去2年にわたる本研究の成果の中でも述べてきたところである。

今年度は、HIV 検査体制について、さらに詳細にわたるアンケート調査を全国の保健所に対して実施し、問題点の一層の描出に努めた。

その結果、HIV 抗体検査の受付状況を過去5年間でみると、昼間の時間帯では検査件数は横ばいないし減少傾向を示した。一方、土日の検査を実施している保健所では HCV 検査の実施を考慮に入れても確実に増加傾向を認めた。これまでの時間帯の検査受付体制を再検討する必要がある。

年々 HIV 感染者が増加傾向を認める一方で、保健所での HIV 抗体検査数がそれに反して減少している理由として、検査希望者に対して利便性の配慮が十分でないことが指摘できる。受付時間帯に加え、説明相談体制（説明に要する所要時間の短さ、実施方法や相談担当者等）や検査結果が通知されるまでに日数を要することなどが利用率を一層低下させている一因であることが考えられる。効果的及び効率的なエイズ検査体制の確立のために、従来のマニュアルに記載されている HIV 抗体検査受検時期の再検討や迅速診断法の導入などを含め、検査希望者にとって利便性が高い検査・相談体制の強化を図る必要がある。

#### A. 研究目的

最新の拡散増幅検査の導入により、病原微生物を検出する精度は大幅に向上するとともに、その検査に要する日数の短縮も図られた。そうした中、保健所の検査体制には、総検査件数の漸減傾向や地域性による検査利用人数の違い等の問題点については、過去2年間の本研究において指摘したところである。今回、

検査に要する日数や利用者の利便性、検査費用等についてより踏み込んだ調査を全国の保健所に対して実施した。これらの結果を解析することによって住民にとって利便性が高く、しかも効果的な HIV 検査方法のモデルを提示することが研究目的である。